

## 野田市老人ホーム及び老人デイサービスセンター指定管 理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 令和2年2月6日（木）午前10時から午前10時45分まで  
開催場所 野田市役所5階 512会議室  
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、保健福祉部長  
行政管理課長、管財課長  
欠席委員 無し  
事務局 高齢者支援課、行政管理課

### 1 開会

<委員長から開会の言葉>

### 2 議事

#### ① 複合老人ホーム野田市楽寿園

令和元年度（4月～12月）複合老人ホーム野田市楽寿園業務報告書及び令和2年度複合老人ホーム野田市楽寿園業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度（4月～12月）複合老人ホーム野田市楽寿園業務報告書及び令和2年度複合老人ホーム野田市楽寿園業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書1ページの入所待機者について、現在の状況と今後の予測はどうか。  
→ 法人全体での待機者は、平成29年6月末は182人、12月末は191人、平成30年6月末は218人、12月末は228人、令和元年6月末は225人、直近の12月末は226人となっている。このことから、待機者数は急激な上昇はないが、緩やかに増えていくものと考えている。
- 業務報告書2ページの個人情報の保管方法について、具体的にどのように実施しているか。  
→ ケースファイルについては、鍵付きの書庫に保管している。パソコンについてはログインパスワードを掛けて運用している。
- 業務報告書3ページの地元企業を優先することについて、市民の雇用割合はどれくらいか。  
→ 楽寿園在籍の職員25人中22人が野田市の在住者であり、雇用割合としては88%である。

- 業務報告書3ページの職員配置等が妥当なものとなっていることについて、介護職の人材不足が与える職員配置への影響はないか。
  - 夜勤のある職場ということで、人員確保が難しい面はあるが、現在、人員不足により長時間の時間外勤務が常態化しているような状況はない。
  
- 業務報告書10ページの年度事業報告について、介護相談員来園及び運営推進会議はどういう事業なのか。また、開催回数欄には5回と記載されているが実施日欄には年6回となっているのは何か。
  - 介護相談員とは、市が登録した介護相談員が特養等の施設を訪れて利用者の声を聞き、気付いた点を施設に伝えて、介護サービスの質の向上を図る地域支援事業である。運営推進会議とは、施設職員、市職員、利用者家族、地域の代表者などで構成される会議で、施設の現状を報告して、運営に関して助言や評価を受けることを目的とした介護保険制度に基づく事業者が実施を義務付けられている事業である。また、5回と記載されているものは実績であり、あと1回はどちらも今月の実施を予定している。
  
- 業務報告書11ページの施設の利用状況報告について、令和元年度の利用者の見込みが20,478人となっているが、この数字は稼働率として見た場合どの程度なのか。
  - 見込人数の20,478人に対して利用日数は366日のため、平均すると56人になる。利用予定者が予算ベースの養護30人、特養29人の合計59人の場合は、稼働率95%である。利用予定者が定員ベースの養護41人、特養29人の合計70人の場合は、稼働率80%である。
- 施設ベースで考えた場合、稼働率は80%か。
  - 定員ベースの80%である。
  
- 業務報告書12ページから15ページの収支状況報告について、収入の利用料収入の約500万円減額見込みの説明欄に入院者の増加等により稼働率が低下したためとあるが、支出特養における当該入院者の増加による影響額はどうか。
  - 支出特養で影響があるのは、個人利用の回数減少によるもので、シーツのクリーニング、清拭布などの賃借料がある。給食費も個人利用であるが、食材費の高騰により、支出減とはなっていない。なお、入院者数は養護で12月末現在、延べ171人、特養では486人である。養護特養ともに入院による不在は3か月まで可能としており、4か月目には退所となる。
  
- 業務報告書15ページの支出の常勤職員について、職員採用不可による減となっているが、採用できなかった職種や人数は何か。また、採用できなかったことへの対応はどうか。

→ 当初の計画は、特養の常勤介護職員1人、養護の非常勤介護職員1人の採用を計画していたが、採用できなかったことから、これに対応するため、派遣職員2名を採用した。現在、適正な運営はできているが、職員のシフト配置がより弾力性のあるものとなるよう、介護職員1人の募集を行っている。

○ 業務報告書15ページの支出について、修繕費の今後の見込額49万円には、8ページの法定点検で予定されている部品交換も含まれているのか。また、その他に予定している修繕は何か。

→ 8ページの法定点検で予定されている修繕は、修繕費用が20万円を超えるため、市で予算措置して対応している。また、その他に予定している修繕はない。今後発生する修繕に係る費用として49万円を見込んでいます。

○ 業務計画書6ページの人員配置について、元年度には副施設長の職種はなかったが新設するのか。

→ 副施設長は以前から兼務で設置されている。生活相談員を主に兼務しているが、今回人事異動があったため改めて表記している。

○ 業務計画書6ページの人員配置について、職員の入替えはどの程度考えているのか。

→ 介護職員を新たに非常勤で1人募集する以外に、法人の人事異動により、今年に入ってから、1月付けで生活相談員1人、2月付けで介護支援専門員1人を異動している。例年であると、4月に1人程度の人事異動を行っている。

○ 業務計画書10ページの施設の利用計画利用件数について、令和2年度の利用人数の見込みを合計21,019人としているが、最大何人まで利用できるのか。

→ 利用日数は365日のため、定員ベースの養護41人、特養29人の合計70人の場合、最大25,550人まで利用できる。

○ 定員が一杯になった場合でも、入院者がいるため稼働率は100%になることはないのか。

→ 入院者がいるため、稼働率100%になることはないと考えます。

#### <審議の結果>

令和元年度(4月～12月)複合老人ホーム野田市楽寿園業務報告書及び令和2年度複合老人ホーム野田市楽寿園業務計画書について承認

#### ② 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

令和元年度(4月～12月)野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び令和2年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度(4月～12月)野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び令和2年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

○ 業務報告書3ページの管理費縮減のための方策について、経費削減・業務の効率化を現場レベルから取り組んだとあるが、その成果について教えてほしい。

→ 経費削減については、消耗品の購入に際し、在庫を無駄に保管しないように使用状況を確認し、消耗が早い物品の検討及び改善を実施した。例として、ペーパータオルをSサイズからMサイズへ変更した。Sサイズでは、枚数は多く入っているが、たくさん取り出して使用していたため、Mサイズに変更したことにより使用枚数が削減できた。消毒液については、希釈量と消毒場所の再確認を行った。コピー用紙については、裏面の使用を徹底し、FAXは受信データを確認し不要なものの印刷を控えた。これにより、発注頻度が抑えられ、事務費及び事業費の削減につながった。

業務の効率化については、業務分担を整理し、正規職員が動ける時間を確保し、その時間を活用して、忙しい業務のフォロー、雑務、記録業務を行い、職場全体の残業時間を削減した。

○ 業務報告書7ページの破損及び修繕の状況について、管理状況調書の中で11月25日に担当課の点検を行った結果、いくつかの不具合が発見されたと説明があったが、このことについて、表に対応が予定されていないので教えてほしい。

→ 点検により、浴室のタイルのひび及びテーブルのがたつきが気になったところである。浴室のタイルについては、過去2回ほど指定管理者側で修繕を行っているが、修繕部分がまた剥がれてきている状況である。浴室については、毎日使用していることから、利用者にできるだけ影響を与えないよう、修繕時期を見計らって行いたい。寒い時期ではタイルが乾くまでに時間がかかってしまうので、暖かくなった頃に修繕したいと考えている。今月中に業者から見積りを徴し、修繕の時期を指定管理者と協議していく。浴室ドアのゴムパッキンも、タイルと同時期に修繕していく。

テーブルのがたつきは、ネジが緩み、きつく締め直せない状況のため起こっている。指定管理者が業者に確認したところ、テーブルの材質が1枚の板ではなく加工されたものとなっているため、修繕できないということだった。改めて、別の業者に確認した上で対応していきたい。

なお、和室の敷居テープの剥がれは、年度内に修理する予定でいる。

○ 利用者の安全に問題がないということによいか。

→ 利用者の安全に問題はない。

- 業務報告書 8 ページの事故、要望及び苦情対応について、2 件の車両事故の報告がなされているが、利用者の要望や苦情はなかったのか。また、そういったものを多くくみ上げる方策は講じられているのか。
  - 要望及び苦情はなく、要望や苦情を多くくみ上げるための方策については、日頃より利用者とのコミュニケーションを大事にしており、その中で不安や不満などの把握に努め、利用者の方から多くの意見を聴くようにしている。
  
- 業務報告書 1 2 ページの支出について、光熱水費 5 5 1, 7 0 6 円減額見込みとしている理由を教えてください。
  - 1 2 月末時点で、延べ入浴者数が前年度の同時期と比べ 1 2 0 人程減っていること、感染症などの理由により一人で入浴する方が前年度は毎日いたのに対し、今年度は週 1 回となったことで、個浴槽にお湯を溜めなくなったことが水道料金及びガス料金の削減につながった。さらに、利用者数が伸びなかったことから、2 部屋あるうちの 1 部屋で賄えたことで、夏季及び冬季のエアコン使用が減り、電気料金の削減につながった。その他の減額理由は、収入金額が減ったことに伴い、販管費が減ったことによるものである。
  
- 業務報告書 1 3 ページの収支差額について、2 4, 8 6 8 円の黒字見込みについてどう評価しているか。
  - 利用者数が伸びない状況ではあるが、今年度から指定管理料の支出を行っていることから、収支差額は妥当であると考えます。
  
- 業務計画書 1 0 ページの年度事業計画について、利用者から要望があるのか、また、令和 2 年度に新たな催しはあるのか。
  - 毎回、事業を終えた後に利用者から感想や要望などを聴き、利用者からの意見を参考に事業計画を立てている。令和 2 年度について、新たな企画はない。
  
- 業務計画書 1 1 ページの施設の利用人数の見込みについて、5, 9 8 6 人と令和元年度に落ち込んだ分を回復する計画となっているが、どのように利用者を回復するのか、方策を教えてください。
  - 例年、施設管理者が地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等を訪問し、関心を持ってもらえるよう施設の P R に努めている。令和 2 年度もパンフレット等を持参してこれらの事業所を訪問し、利用者の確保に努めていく。
  
- 人員配置について、週 3 8 時間勤務の介護職員が辞めて、週 1 6 時間勤務を 2 人雇用し、合計 3 2 時間勤務とする説明があったが、3 8 時間から 3 2 時間とすることに問題はないか。
  - より良いサービスを行うため基準より多く介護職員を雇用しており、問題はない。

- 38時間より16時間の方が、雇用しやすいということか。
- そういう理由もある。38時間で勤務していた介護職員は、以前、介護職員1人が辞めた後に、勤務時間を増やしても良いということで、38時間勤務にした経緯がある。
  
- 岩木小学校老人デイサービスセンターの市の施設としての存在意義は、他の事業所では受け入れ難い要支援者を受け入れるということであったが、民間のデイサービスで十分ということはないのか。
- 現状では、半日デイを実施している事業所で、伸びているところがある。従来のやり方でやった場合、どこまで伸びるかというのがある。
- 半日デイは介護度の軽い人が行くのか。また、なぜ伸びているのか。
- 介護度の軽い人が利用することが多い。店舗に併設しており、利用者がデイサービスの利用後に買い物をしていると思われる。
- 岩木小学校老人デイサービスセンターは、完全利用料金制から指定管理料を支出するようになったが、そこまでしてやる必要があるのか。次の指定管理の更新までに、事業の必要性を考える必要がある。その前に、市が公の施設としてやる必要がないという結論になれば、利用者を制限していくことになる。指定管理料は増えてしまうが、そういうことも課題として、検討していただきたい。
- 検討していく。

#### <審議の結果>

令和元年度(4月～12月)野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び令和2年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書について承認

### 3 閉会